

期待に応える予算か！

分科会（厚生文教委員会所管分野）

討議事項

クラスサポートスタッフについて

下野 委員(座長)、香取 委員、森 委員、大坪 委員、大和 委員、高橋 委員、川島 委員

長期総合計画

基本目標2 子どもたちがのびのびと育つまち

施策分野5 確かな学力の育成と個性と創造力の伸長

分科会での主な意見

これまでの学習サポーターと比べて、クラスサポートスタッフの人数が半減される代わりに、教育支援スタッフを拡充することで、各学校の特色に合った支援をするという体制になる。今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

支援の必要な子どもへの対応として、継続的に支援を行う上で配慮が必要であり、支援をする側の引き継ぎをしっかりと行わなければならない。



一小入学式

人材確保については、各課が連携して人材の掘り起こしに努めていただきたい。

大きく体制が変わるので、保護者への丁寧な説明が必要である。

スタッフに対して、その役割を果たせるように丁寧な説明と協力を求めることが大事である。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

討議事項

改修後の寿楽の運営について

長期総合計画

基本構想 重視すべき視点

視点3 つながる地域づくり

分科会での主な意見

通うための交通手段などについても、しっかりと考えていく必要がある。

誰もが居心地よくいられる「場」、交流ができる「場」という両面の機能を発揮できるような工夫が必要である。

今はまだ「寿楽」という名前が定着している。早い段階で名称について大きく募集をかけて変更してはどうか。



工事中の高齢者福祉センター寿楽

子どもから高齢者までの施設としてふさわしい運営ができる管理者の選定が大切になる。

学校に通えない子どもたちが行ける「場」になることも視野に入れてもらいたい。

小学生から高齢者、障がいの有無などに関わらず、広く住民の意見を反映させるためのワークショップなどを開催してはどうか。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

4つの議題を議員で討論！

分科会（総務産業建設委員会所管分野）

討議事項

コミュニティバス運行事業の今後について

下澤 委員(座長)、原 委員、小川 委員、榎本 委員、古宮 委員、井上 委員、奥泉 委員

長期総合計画

基本目標6 便利で快適に暮らせるまち

施策分野2 公共交通

分科会での主な意見

10月以降の運行予算が示されていない。10月から本格実施が決まっている中で、何も予算が示されないのはいかがなものか。

町の担当職員が近隣をはじめ広く交通手段について調べたり、住民の声を聞こうと努力している姿勢は評価できる。

町民の意見、地域懇談会の意見を極力反映してほしい。



コミュニティバス

むさし野地区や元狭山地区の昼間の時間帯などに、デマンド交通は有効ではないか。

6月9月に示されるであろう補正予算をしっかりと注視していかなければならない。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

討議事項

立地適正化計画と地域公共交通計画

長期総合計画

基本目標6 便利で快適に暮らせるまち

施策分野1 計画的なまちづくりの推進

分科会での主な意見

6年度に行われる住民説明会やパブリックコメントは、住民の声計画に確実に反映されるよう、早めの実施してもらいたい。

町民に計画の進捗状況が分かるように、可能な限りホームページなどを活用して周知すべきである。

コンパクト・プラス・ネットワークの町を実現するには、立地適正化計画と地域公共交通計画の策定は車の両輪。



計画では居住誘導区域や都市機能誘導区域などを設定することになっているが、内容は現時点で住民に示されていない。

立地適正化計画は、国の補助金獲得を目的とするのではなく、町民のことを第一に考えた計画にしてほしい。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。